ハ

ヘ 13
3180
6

へ 13
3180
6

昭和 十 年
六月二五日 購求

道中膝栗毛七編 上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

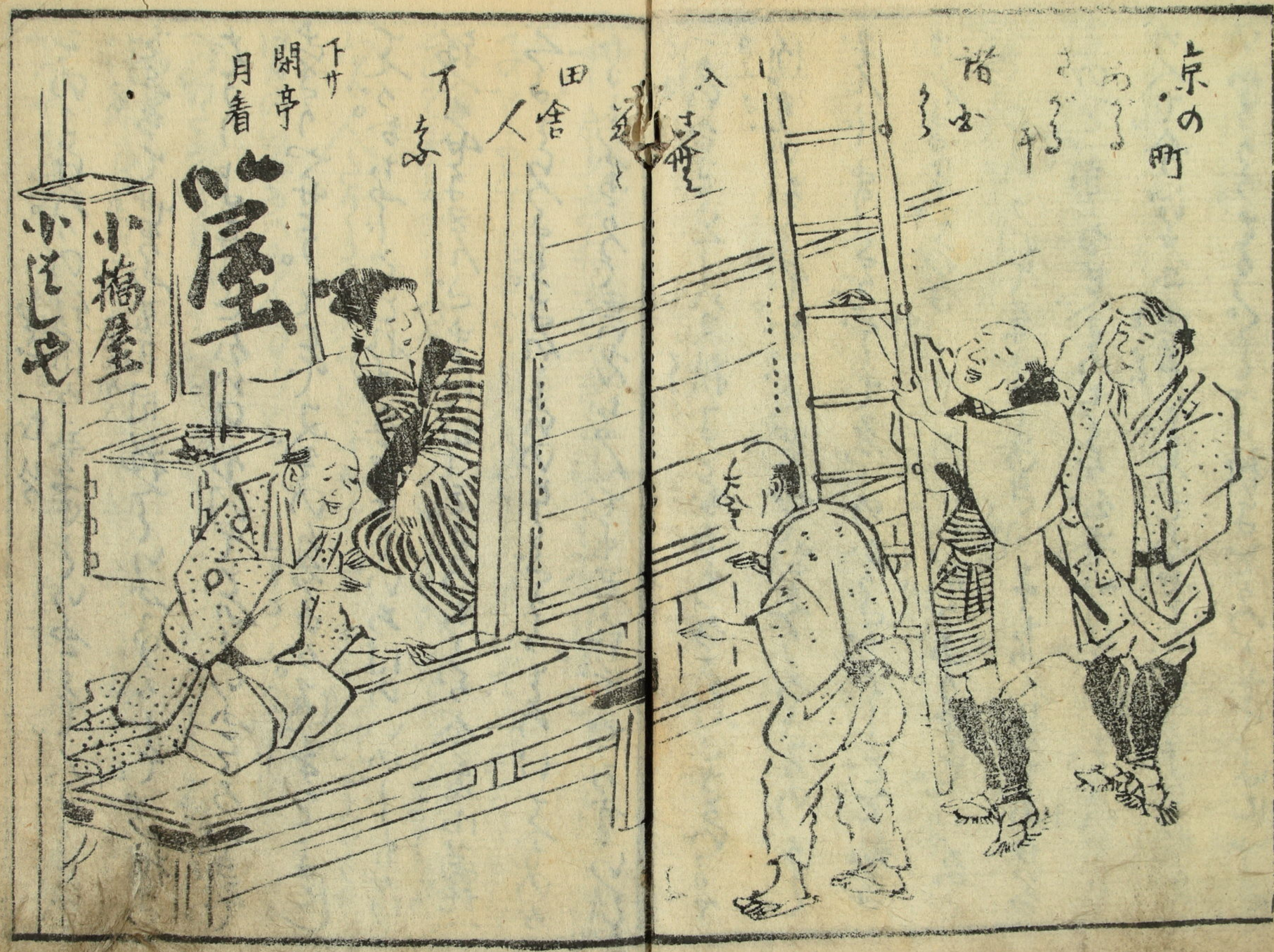
[illegible]

[illegible]

[illegible]

きーきくとそろ〳〵今晩へ。おあさるがいこ。おさくもふござ
まーまさとさろい。お湯の林大せ夜　あとの。ふぢさ
ぐる所よ。きやろうきるいる湯がおざりまさと。こ道へ
ろ〳〵お出なされ。おいろいろいろ。ほんぢきんおめへいく
なる〳〵ろてきなせ。京のあで洗ふ。ごどうせへふいろ
ぐまろ〳〵ちるしいとてぐせ。とのうへまろくもうちゃ
はまろうぢへろ。よやせうへ。ふあるこぐろへきん
ざいをろうお出ろるぢ。ちろうやとろちゃ。ぐでごろうやを

ろいるとろとてろ又。ぢとおもちるさるこさろいこるや
きんざい　迫来のおろそで。ちやぐ男ふて。おろうるさるのろく
ぞんじ。まるぐ。ぞてろ。ぐどのおろぐ。ちるごとゆる
されまをぞろる。ぢとぢ沢がありやを。ろりや。ぐど
ろうとぐろて来やく。このきりりやちろんしてあるる
ものを。きるせへろちぐ公安ものごぐ。生ぢ
のへで。今沼ぢ世事をとりてねやを。あへ京の紙ろ
のやろう。ちるぐ〳〵ろ。ぢ材をとろぐせてよ。ぢやさ


京の町
田舎人
下サ閑亭月看
屋
小橋屋

そのことけいらの親がこまくいきそで。人ふうを紙
をまきて世ふも面目なくいふるふらしそ。アノ親
だうよこてとこいのがのてとくいふとちいきそ
ぎりやせう。そこで又その息子が。返事をよこし
て人がおちあづくことあるもこまでいろはのいのしもうけ
ぬへらせまんざまけ。こちらが今度山崎地へ
くるとうこうさんこのとこぶこうのけて人のが
あるとうをうて。ぎんちんでもそけてやろすいひ

中こうきちせへきこと。孫へ元金利をひらうしアノ親
子をよこてそを親父のをうへそけてくれろくいひ
やそこでこちらが。コリヤアやこいいぶ。坊ねへ生
ある人ぶうもいてひふちんぎこいひやとこうこ
男のいやへそんまうきどだうりりていろて京
へつこうぞふで坊さるをひうり親んでその坊さるは
はなかしもうせて。親よいろきよふあやぢの所へ
ぬへてもせくこいひやとうこ。コリヤアるぜ。そふとるのこと

きうやきく。イヤ京の紙すかう。のがてこい〜いろてよ
て。さうう。その名んぢぶく。粉まそもつて茶中こめさ
ぶも　きぢど
川〜柿子とゆ。そのかれ〜いふきこへてしやが。そのか
名んぢふ。さ〜ぢ〜又。かんさるふ書りく井りこて
ゆうこへぢふぢゆいるべいりやのかうこいが。稲がるんく
いふそろ川〜〜でけまこいる。赤〜さるぐのあを
中。さ〜どのこるまや。柳ぢうもようふさいるまいよ。
さぢれ　うんぎ　義ふあうこぢやあろ　ふ　やるく〜そふでも
ぶさうや世。乃中　きうう　米柿子　とり　てあるくぶこん
ぶ。てうかるかめさ。馬ちぢふかるふ。そ〜ぢをうけて
のるところうも猫へのうよあてそそて川ぐときふ。
さくるこぶあうやさと。大井川でもあ。何でも基盤〜
いふきるこ。川とこの住ふ藤が巴人まふふの基の使ぶ
基人の出宅。ふを柿子　ぢえ　粉まこうへりのぐこへ川ぢ。
住ふ藤ぢうで。素の使ぶ　ぶ　かまうゆまうまとちめぐこも
出ようこうかも乃中考るこぶあるるこ。かるうぢ

どへかちなさるぶつ。こりゃ人の気の強。とうわうな
でぞうやさと門イヤ法もなく。十二そうどうて
いとらふ。ふがぞくくのうの。ぐ〳〵ちぶふ。呂今ちの美
ふ。坊さるへとでぞ雇ひさるのうい。そふさ。ぎれ
やさふやァ。ちうやせ夜門さよちう。さいらいのこうちや
ちうる。ちとてーくぶ。せへいさ。ぎきあいまとよい
坊がどぞうまをこいる。これをおつれなさられませ。呂今
おいあるせャまきるいーもちくく
まうてんちなせへ。今こちのうへきせぬ。おうういりくどと
ひきうけてとまるさへあるふ。又いまさぶうきぬとうう
くんでぞふきるものぶ。ノウ法さん門イちく。ソりゃよ多への
かちぞうう。おいうへ出うぬぶ。ぬふーろ。そのあうきるを。
きやくくるのむぶようきとふるりのぶ。おやへまぞぶ
そんぶごとをいふ門ハテ今あるまこのいとぞやをとうう。
せびうもおうのこちまきるのしぞやちうふ門きれいとふ
ぶれぶ門なんぞやあろ〳〵ぶとでへおまさーしぶれ

そんなことをいうもあるく仮がくらひて人に告げぜんを
今あげまさぶ〳〵さる女八ぞぶぎ者の白河すがんさを
まくくひて人に仮がるつこと人られぬ川りくかりこまこ
まりこと言ト云ことをゆくこやどをくせりと者こ者こ者
やうぞぜんをひきるふやどのまいもいぶきこ八ぶまをらをおうこをかいこをぐ
さをををんぶんどふもぶしまれものを白ぶぞーのころ六ちちきこうをとどれこ
ひげむしやこーやのたがこまぐ　イヤ　りふれ　おうぐまーこういを。
きをへらぼうをいきこうて
を見ぶふこで今おまを中まーこ六ぶがんでどこうまを
見ふる　ト引合きをれぶけをこをを
ひりやげふこまるぐ白河　ハイ　ぎをへひ

なをれまーこ。忠傍名へ。ぶんてろくやまを内こ
のをるぶのがおまるーを中。まらうまーこ白河　ごくろう
サをくこれくーフリや中こまをんぶぐんぐおせをこぐが。
きをぐくるこーがあるやを中なんぶんあを白河　イヤ　を様こ白
ぐーぶアノおこをこ月ホ合をまをめくなぜーこふふころう
こをろう。妻人様こをでを者こいふをうが坊さをでを
けアこやアをくやせん河りやぐーこをんぶを白河　イヤこうま
おこを白ーこをこをこをこを白河　おこり　紙へいうこのがうこを人が金

げ種とらんとを返るすとうそで。のむとこげ三角表
なら。ふべのがられ種とらんもあごうそのかいきとせ
ぬアなりやせん。ぬで。の。蕎麦表記の梅くえが。むくる
のうの西俗ゴ。おもくを柄杓とともつけて。ちし
ゃ。ぬまのうのがれいるア。なぞくそのがうさあふ。
やらしてからんぬ。ゴ種くいよあごうく。むつしい
ぬ。ちよどうまとぬ。ぬんもあうさうへつる森村爰之助
とちてれものハ文芸雅の世ゲごとやうおいこれのしや

駿府
一馬斎一指

さうい。ぐくだけどやさうい。さいさいさらちの姫めぐ人う
しげんのう祢ぎよてどや。ゆ。もぐさて。ちよ。ぶ。ちよ。ぶ。ちよ。ぶ

てうどよのいきあびさいはいくまろと至れば梅うえ二
ろふふえとまとそむけそこきぬかほでふくき世る可コ
ゆうきげんふいうねやうめうきうとわうせぶうつうれうう
ようあ源人の曙うこ移由れたうれまの一どんどうこと
まうこきあんせ一産ひきこうどふらるひやつてうふ
ゑへかうこれうれうあでひうせそうでんどやないうゆく
い男と同ふりうき源八ゑのうこうせうう可コりや
ようるなくくふきこてうきうこうしうふく

ごうせんふくきい梅うえ一ひうまやきこんきせぬ
るんこさん可コよりるふりやくまこうふうて
ふれうこりやかうぎ梅ごえ毒ゑの濁ふぐふこと
一ひちうん月減とこ石同ふまげこうふいの一十二おこう
ちこりりやなぜる一こそりやうこうよこ稲うちうう
ふうろて山汲米のむかどふくくこ乳種ハきくくこ比ひや
なこうきけういだううふひや稲ふうこうこ石同で
ひういひゆうとおこうこ一ひゆうがおいるア一二八

十ちであこうけう五て。二九の十八でつい毛公四文乃
せ。ちう。一ぢかふて。ぢ。ち。ち。や。ぢ。ち。ぬ。ち。なんじやの
ひ。ち。の。ぬ。ち。ひ。う。ぢ。ふ。ち。ち。ち。ふ。ち。ひ。ち。ち。ち

のごとトひつくろへ〳〵まるかぶりんてろのあるきまいとあらそんひゃのいれ
かもぬふりけるもんどまぐれて話ばしろ気へひつくろうえろ
ぐろうおちるとんしごんぐんてろのうへよりむまるめびまらのあるとと
うろせてろろくきいるせべ話ばしろこと〳〵ばなるでさまるみぐろ
〔アイタ〕〔ウ〕〔ウ〕〔ゴ〕〔ゴ〕〔ゴ

とりうんらいの医者やりよりよいさうい医者さうよんで
とうらいなるかうお寺へ行くと外のあやんせ
引くの出しこまるぞの用ニ三きのごくること。姫ぬん
ぞうとうちなまつこと。ひとつ。あらうちもつこと
いつぞうまきうらいなるいうらいひとつ八都のまきと。人ふ
ぞやされひうんなめふあつれて。お笑じあるなこぞ
イヤおまい。人の姫ふ怪系さしてに合ふじやあろ
まいが。人の姫ふけがにこうやぞふやつて

つ
いイヤまうひふうる。そふういとるさんうちと
けういぞやぞやけうれ。ゆがけるいぞ稲ふるふがと
ちとこいてぞやよいちりそも足さんせ。ヒトやけ年
まで。中ぞやしておうこぞつぬふ柳子ものてきこと客と
ぞうこうこうないこうる。いつうい者國のおうこぞゆしふ
柳子もてあるうんまやう。おちちやこんこよりんこいる
かりも屋敷うちおぞうこ武家じやるいうく。家内の
小言
りんぐがいてぞやあつこぞ。ぞるわぐ穴ぞるこ。ちう稲ん
奇怪

[illegible]

[illegible]

ちゃうア。きてうめんのおかぶ[illegible]人さまざ。おつかひなさ[illegible]

さてといふと。不覚ざ[illegible]うやせぬで[illegible]いしてやのうかみ

いふさてとるんくうちが。抑[illegible]もてどうんくうくうくうちと

すじやこいみ[illegible]このうア。そのいる人ふうなまどとちう

きてもんせいくうアしく ひとめんな同つきしてじやこいる

[illegible]

[illegible]さんハ解死人じや。そのかをりとある丈せ[illegible]くうくい

ざるいうなこ[illegible]ア同ざまくこのじやアイ おそうアイく

いくイのくく トやう[illegible]

[illegible]こりや。きうこハざせとりのざろう。あうアかふくあやア

ゆうさ極[illegible]こりやくおそう。おそう。おそうア[illegible]でうまる。ざうざやそい

[illegible]おそうイのこ[illegible]おそうやアいこ[illegible]なさけるいこりやうまう

く トうろうてうろう

ぬうりさうざうろく[illegible]こ さうなさんざうちやうもやるこ

ちうくんで[illegible]ちくごとまいきいこさせ[illegible]ちこハ

ぜんてんまめんがうい。ゆのあらいはいべらすのとちゅう
くらぶ。ゆとはのうちおちて。雲間の鶴ぐの。ちんのく
ろくでも強くとをもどめてさうらひさうぎふ月さ。かたん
まめんぐ愛陰人ぐうう。解釈人ぐちちくめづるぞ。コチ
ちんぐとつ。黄人ぐおめぐ。ぐ長ぐそんちう拳そして
あけこかうぐげしめんぐへだいどうアいひるせくおいうア考う
ぬく

ト内いやもきう。そうあくぐあるうまる
うちぐむとあうしいまき考ぐ考ぐ考ぐ
ぬるでおろしおろう長。ぬうぐ長ぐ考ぐ考ぐ考

所作者 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

月日

出演者
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

まぐひがーは只あるきそ人而があるがーなあれば郷の人
雑ものなへらきやせうトゴ[illegible]
ゆしくとてがある。ソレハ仕様カの市で。京の人と一座
とうが怪ものの人。子中通中三貫ゆうつこがぬ
所の天神さまへゆくろでゴ[illegible]ろこまやア稲ろ[illegible]
[illegible]
多田屋やの子さまゆうつ[illegible]ソレ[illegible]
湯でも呑でやろうでやアシ稲人ろ[illegible]
のはせるりのろ[illegible]ところをおらうが術ふりけて呑間を
トロ[illegible]
[illegible]
[illegible]
よよおのがりまやろ[illegible]
[illegible]
おひさまうざうやを[illegible]
おつまさまがあるをんでや[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

分うぶきうう
中之夏。ひくあくあがるまぐらいのあさきろうり
もくろいあまう。持子うけそのおくふくおあつて。うぎく
りくあて持ちあいてしまり。ちいさ。りやちでけどやらいる。
ぞろぶふ。ゆひかあきれぐあいあ。おきろくいぞふしあいあ。酒
けさ。
ろ粗。ぞやでえぞさまう。中食はまぐいこしやちん
ちりやおあうことどやらいる。さろるくあげらいがはん
あ酒屋はるくさやへ。ぞろまふおろるりふあるきア
緩久ちやあこてはかふまいこしませんらいる。ろう
くのおおおくぞとでもあぐりあさまちやぞこちろ
ちのころ。猪ふいこしやまう。ちやまいぐさせやて。も
ちろくこぞよつてお出あるくきうらいあがある
らいる。ろうりの若鮎いまそあるめと。塩鮎ら奥田
あまるくぞろくまろう。うまるのちんのくいふようあ
まろうちやるいらいる。イヤまぐぞ。ぞ柔の生胆がちらいと。
おまるくていこあ。あこの鰹はかもりでさらぞこ。ろと
ちぐふさあどやきあうこあうまいぐる。もくこあ。ちん。

[illegible]
[illegible]
[illegible]

まちがさうれ。よい所へ。お出なさるつる。ちゝおやは。
ぶつくさいふ。アノ伊勢の古市で。おつき合ヤさんの
こゝろいさ。あの時の入用。金をもたせやあつこがる。ヨシヤ
金用ちがひして。金をもたせ方取集。こちらゝ出ておい
らさうい。コレ　ドンなされ。乃公の書分　ほけ。ゆもうも。こるいふ細ふかきつけとおいこが。
うちへ戻りて。さん用してドろとおまいりさひとうお。
石吉兵衛ヤ。ヨシの方へ。お出ひヤさんへ入用

が。あるんとこるこゝのちろやさうい。ぞゝてもゞんろ
いが。こるふもくこるいさうい。おふろう分。弐石四十八文
おりゝひヤまきよゝいふ。話引　おやも。今とる河て
きて。孫ゝをうふ。ふれだゝうのをうれちゆておき
るせへ。さろちでも。ゝそゝこるがあるやを　ソリヤ　あげる。
のがあゝへ。あげさうい。いひさされ。さん用ハさん用ゝ
ニア。さちへこるのが。ぶをそうゞやさうい。彩ゝ。ゝ
ろ。を〜〜さまけてあげさよ。ゝろの。弐石文〜〜

[illegible]

いんきょ[illegible]やあろう。そ[illegible]つぬでふ[illegible]肥さま。金[illegible]

きへいろ[illegible]さがよいこゝろ[illegible]。おそ[illegible]るさうに。[illegible]

てすぐ[illegible]んせ[illegible]きふ[illegible]

[illegible]

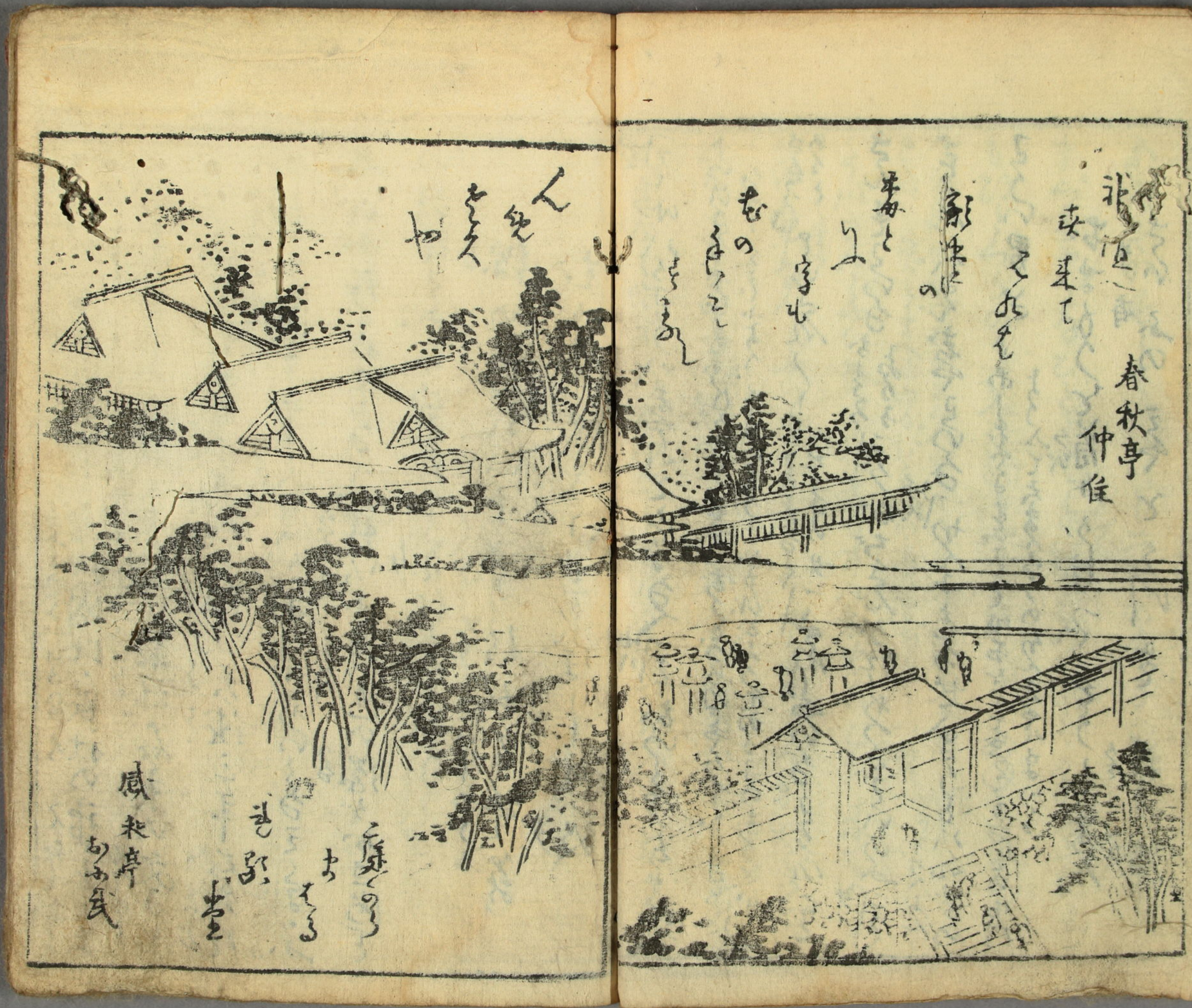
[illegible]

やもめのいろは。菜屋おでんあげうんのうは。ちやゝあ
げておやんらいはモシ。ろちらア天外さまへ
さんけい
参詣して。人をふかやの平で休ませうゝ。は
ゝどとこふおいてうんはせ人一八りくおあげうゝ
ゝまちよとらは。おまやうらいてお出なされ一ちよの
こまやゝトもゝどをちやをのかぐふ一ヤしゝまをおしさ。
そくけてきゆきそ
ちんのはをふようりのふ。ゝまとハもゝどをさ
ちをハぐふ一ハゝおりろくも絵ゝトきまうどゝまへ
ようりうんの

る物おろうも。はかいろも。借るあ車さ一ヤをさまだいぐ。
おそくるのけいこあるがをねおひらぐ
をあうあるそふぐトこをようろてハとあるのうけとのろへ一ようアトワくく
けんぐうの一ワアイ一ハ一ヤ三をあらいトまゝや合七形戻ら
きのこ
ゝて。腰があるつきこあるアノさんふやく玉ろうをうを天
ま
窓の様子めがをらうよのうくきるるいアりや
きれこころちやゝとらは。惜労のあやうさどや。ろいは。
ア。あつちやの男ろをんせ。ま絵をあやふをろてあうは
いつぐ。ふつきゝてねあるアりやちをこ織屋のま絵どや

あるぞのそーてアレく。十二坊の男子坊が。おもだう
まゐるやうなことをーて。なぜ。なぜ。
もひとつのうてスかむ。むうふ月てゆるあるさうふー
人でその牛。女づれがうたべうろて月てかうしろくまつり
月ぬし。ぬがしまへふかう。むまめのまうとちよいてつめう
られさんぐやい。ゴレ。おまるさん。おまいこちまていしん
らの。ゆんぐやらの。ゆんぐややう。ゆ〜ぐおいぐとは
ゆくさらの。ゆこしゆ。ちんゆ。ゆりやおるごこのきいまでいまれと
人さんぐやあろぐの。ゆまりんきゆ。かつておんせ。

夢
ゆ。ゆ。ゆ。


春秋亭
仲住
感秋亭

[illegible]。[illegible]むらし近江國比良社の神主良[illegible]。[illegible]。[illegible]。

ちゃ紙屋川のあたりに二軒茶屋あり。あたりハ宮
縁しちやくるふまを成せんと茶屋ふたられがせ
ども出ハ四ひて一ようお出をとらるる。ライト打入お出を
され一ちやくをうめへあがあるう称めしもいたさしゐも
のとくてしこ。ちよびしてとものでいったんまやくとのそ
やをとで、トわくの茶ん茶をとりてとせてとらるき
とち出ざさるハあり一番の出をとしあり一さうそく
見へありうてへ女中ひとうはきざめへトありそまくく
女おさちなあぎとうるぎ。コリヤ　ヨてしがたのこりおやそへ

川ア山鼠がかめ今の公いきハこそ一ハ
さんが川鼠くいふこうちゃ　ヨりヤ　みんぞそんそん
ちやくかめへなあげやせう。ドレ　とうちもかいきのさうな
あげやせう一ヲあくく山生業がちんとて。おまハさん
のむくやへ一日ーやちぎうとて一ハくくたぎうけかんざ
ヨるなる女中でんぐくでめくくとくんちあせへ一ハうく
只今トやぐて女でんぐくあるとうちまるふうれあるにきがんか
ぬがついそのあるとふさるもしきうろくきやをてへあさのこと
もの。ぬがるうときてこうもでんぐく中ハ一セントイ仕戒　ぬきこ茶業

ぬぎゝゆふぞいの所ニ持戒がらとうさゝもこゝ
ゆゝ雪ぞゆうんせ。あとへきあうとうよゆゝこゝ
まや。ひさきちうのんと松ふゆゝてぐやあうとぐ。
ゆうんさうのコレ。ゆんせ。雷子ゆうて世うゆうとが。
らうこゝ持がよふて。こまうんこいゝ。トいひゝあさぎの
ばがらさゝ。ゆまあきのところもきうぐ。あゝゆはきびんまく。きよの
ゆうしゝこゝゆかくゝ。ほゝゝまきはこゝとゝきもとうぐおりさ
ちんがんうぎちゝ。ゆうゝ。ちゝゝぐよゝいゝてゝこゝこゝやこゝ
ゆちゝの件ゝ所ゆゝゆゝ。りゝゝ月代がむゝ

おゝきゝうゝゝゝてゝんせゝうゝのまゆゝこゝゆゝゆゝ
とゝうゝゝゆうとゝゝゝ。トゝゝゝゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ぐゝんゆゝぐとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

金九

おろ。ちんがでもよのふさい。祢宜附ふよなれて
いても。おねこけらきて。ものくくのやぞうおいるく。
人をふいつをきくるを宮也者をいるをへそしや
ざいっしんせ。ちくちくへきても。ふろでおくち
こそんくあるをのをソリヤをうも猫へ大ぐらいを。
もつもをちちもくのをものさいくもも伝法へ
ものしさ十二月あつちへ版をところでちくりやをとちんえ
神社をくちきるをちやうけふくて生伏の天宮祭

あつあぎうめりを出ーを生をぐ。あつちのを出いへを
をもできくをそれを十四文をあぐぐもくひやををろ
ちへ。ものをくきぶんぐをるくそぐろくふ合もいとやせ
ちんざが。ナセハをもくひゆーをろうをうをるをや
ぐそ。りーぐができをろそ。そをのてい西のいふ西。を
どのおきをふ。おあんだへぐをるふをくをうけを
。むぎり麦飯をくを乳をーをろそ。ぬがをろけをまろくを
ちぐいふをろをぐふ物祢の二十だりもををふをう

だんだんとかりひろせべそをとる。椀へかりがめん
ごうぐ。家内のもろもろへうるそのさうだち一つづ
引うけて。麦めしとその中へ山のようなもりそうひ
かるる。日ろちも級食はあでぬとが。麦は大好物で
ちろ人られて世ん。せめてひとさうだち もゆ
ん。くちあうがりうまるく
と。ちろ人のようなしかをうえでさうぐさうだちは
ふんちろもふひもんとく食ぐ乃ろう

ゆうとゾリヤおまいもめしの素人じゃないのナント
めしかりさんせんらるへ級ノ服ぐ。ところもあるを
ら稼ぐ。おまのりのそでそれ乃中の服ぐ。あろ。
そでやないるる。こちとうが仲間でるへ服の紋元
ぐ。ありうらうで。服をさがひふふひあをめし
りうふるる。ちとやて乃ん世。さんるとぬちも
まぐ服ぐふひうらんさうのあいるかりしその王くを紋
おもるるへぐゆうかりうそのるとうぐ。それ

ぞんまるのでまだごうやをと孫ハ二アちんじゃあろと。
やそしかをされモシ女中。ちよときてぐんせ。おちちの
おろうじゃ女ハイ〳〵トやたちふーたちハ
イヤてんしゃゆふ。ヨテ〳〵ろうやろうとのるトちゃごけぢゃうえ
さうくしゃハ
ふりてをいハアリ〳〵おまいさそうのるトまたぐんかのちゃうとを
つきけそちゆ
さうりうまう。お扱とらよ而。りうまやさうい。お
扱ようこまちよるいるトまたぐんかのちゃ
ろんへやとうつけ
ろうちがくんのろ孫ハさよじゃり〳〵アさそゆ〳〵。

さうぶまそ。まうまそんぶ孫ー
まうひてちゃうんそうろうの
まうハ
まうまうろう。おさうハまちるいハイヤまづく
まうハ
まておまい。ちゃ一だんかさ孫をされ。ヨ〳〵さけて
あぎよろうる トちゃ女一ちん
りうはけうく
てんるを女人トりのかつてあるまて。ちゃうんをあるはる
ヨテ
ぶまうろう。ろうくうちろうくうんて。これも
ぶじゃ〳〵。つけざ〳〵ぎゃ
やれれぐ。や〳〵ぎやさうい。くひ
さ〳〵ぎゃハ引〳〵おあの。その話むくやくゃ。ろ孫
ぢ
ゆをに中で。くひさ〳〵ふあやまるの。ちろもンルくあ

ざるをとらしてきにナニいつそこでやごいか。そないなを
いつそ。ありとう傍合がなるろうらるん。まるうくんんて。
雑事をくさくんくさがよまいつらいのこりや情合い。
さそくありとうらいよちのい。まそこ孤へかのご。ちみく
ヨろちはあんるせ人にやおまい。まえりまうだちち
ふぼちそれ会ゆくらいてでやるいいるひまるる
ているんを。ろうさんせ。一養いいんせ。そるるりんで
まれろくらよろいの。ちのからろ。おそ長そんと

いいさんでやトのちらんのこりまりさろまんでや。
サンナ浜ムメでくトウライ。ろいいく。サアあぐり
るされそのらせおちちのおろうぎや トむろまのつけ
見ろうまくらんをおて。
ちくくらいちるるるるるこも。
かろうやこりやまくくらいでや。
おまいい田食ものしでる。むまや性別のまぜろこのと。
あぐはけてぬさんをさろいとるいる。一ぬ本の。茶
だろうこのりいよふあぐろんかんでやあろどのる。

はつちゃ。猪の牙のようなかたちでかくちゃ。
ぞせんぬきいか。これが者のきだやうの。
なっ。おもしろうめのあいをうめて。
そこてのそふ。おつまきかんで。おつりふまそやや
おいいか。ト。おづけのいをあけ。
ぺろくくなめてまたひかりふがくまれをとれも
ちいいー。まひ。サア。あぎよりいやりでふちやく
まる。ト。あんさんのとうぶちくく
えざうとられあらそ。サア。まあーしとうらのおつ
りうじやくくまりあらそそきとと。弱人

人が雪ほいうとまとあ。ふうとまあ。ふだもでもあ
まとこんあう。それでぞふーそそそうめうそーまう
はは茶碗で。ト。ト。ちうがさるるふうぞそれまう
ゐせ人。今の一。ぞれ中ほてなとそ。ゐふう。ふくこう
のうちでふつはうーらふおくらまとうう。さくぬて
ふとうーあつちうあんどーのひもがきれうくうぬふ。
ぬぐうきうてきとかめをかくおゆしく
まるぬーしかあーゐされ。おつりうじやこと世中ーゐんが

[illegible]
[illegible]
[illegible]

洛陽
元仲

芹斉

おうぎ　おゆるさせ　おいでなされ　おせわ
さぶらく　ぜんさんいう　ぜんこうぢやまをる〳〵
そどやうにんを　茶ゆしてゐたんも
屋さうお　傍を　寺　つれ　傍
ようまつ。茶神の社内ふうする。茶の門が
一条どとうふ出るをを　きぢうかくしめ
南向の門を出るふ。おもつぎもの　拂子と
ちや屋のかぐちく　ゐれば。ぜんこうまて

まそく。さろきのたもとが　あそこふそて
うけてある。そこちのかうへ　まるんぐろよりふら
りのと。ゐハまあ〳〵ぐろふ　ぐろ。おそこへ
やまぐふ。たぐどとうゆまちう。ひようつと　ぜさ
ぐ。拂子　例の拂子　りていけ〳〵ぐろ。さいろて又
あ〳〵ぐるもどうたぐ。ぐぐ〳〵ちろがあう
そるかのぐト　そぐるもまんそゆうちうこんの　借る　ぐぐろがひいてきろとそろうう
ゐハ　ぐ　いとぐあるぐ〳〵。アゝ　るのよこつぐろのわう

おぢいさんとばあさんのまへにとまるのうげふるう
てゆうゝよりゆかたうはけいきめくばかア 極へ今 同ザ
ゝれどもこりやたべきぐ〳〵 トあくとうきそうまをーるを
ちゝくるたべたやうこもるゝんでるのうげふうれゆくてうどゝの
もーどをあづけ〳〵ちやあのまくふらうてるいちもそをうてうどうぎ
ちうくうけぬけてちやあふたつけくれやせんをーとおりひおをぐ
るのよをもゝのやうくついてくもうぐもうるをうちて
同ここのやうぐどめいるふもとうのぐや。日がくれうハ 張
ゆいトもそぐるうそとやぐそるハせうぐんとまアくく 張
張ゝゆいまもまてせうべんぐけゝるう 同
こりや又なさうけるいめふあふとうぐ 同てくらいく

ソレ張さんおめくのなうくめうハ張ちくせうめぐ
さんぐめふあへせるこれへう〳〵トこびのけびむうるのちや
女がをまをうけて 同もしたく〳〵とるうちやでこきうまをるぷア
おさうるされ同ソリヤとそそたつけうるとこ同こりアーる
まうぬく〳〵トーかくさんやうけうぐびを同コレナもゝどうぐど
ちやあのこのるえんでぐ
ざうまをるうるライく〳〵トとびうるぐうくあもうをぐ
あるくくるくとうまをとたうかうけうぐゝて。下の女衆
とうちやとさ。かこのちやぐでうよ出。そうあハ後ろ

の廊中とうあるしそ。やとは世もあらべいつ春く
せそぐやくしか合せて法華の人よ。乃きぐらと弱枝
をかさぐてゆくみぐよ。町ともなれて来る不雪

永野人とまとと出と人ぞ見なるか

東寺ワラの花のさうりよ

それより壬生寺ふくあるて出る不法華がくれる
くとうせてくる。あ〻の釜人世よ川とあれて。ま枝の
宿くさぐ光うもあるしくるぐ。あくる日法華と見ん
物し。朱雀院より丹波街道をよさぐうる
渡のたもしゆうう。夜よりあ〻船よ出のて。
方仮へてあるむきうる

道中猫雪毛七編下終